

早期接続で、きれいな海と川に

4月1日より新たに26・4ha、406世帯の家庭で公共下水道が利用できる
よくなります。
これで市内全世帯の約68%にあたる1万8千193世帯で下水道の利用が可能になります。



大雨でも浸水の心配がありません



清潔で住みよい環境のまちに



水洗トイレが使えます



川や海がよみがえります

排水設備工事の依頼は 指定工事店へ

下水道を使用するには、市の公共下水道の基準に合う排水設備工事が必要です。指定工事店は、基準に合った排水設備工事を施工する技術を習得しているので、必ず指定工事店へ依頼してください。実際の工事費用や期間は、各家庭により異なりますので、見積書を取るなど指定工事店とよく話し合ってください。

工事資金は無利子の融資で

排水設備工事資金の融資を金融機関から無利子で受けられる制度があります。

対象 くみ取り便所を水洗便所に改造したり、浄化槽を廃止して排水設備を下水道に接続する工事

融資限度額 80万円（くみ取り便所、または浄化槽が2か所以上のときは100万円）

償還方法 融資を受けた月の翌月から60か月以内の元金均等

※連帯保証人など、市や金融機関が定める条件があります。

申込み 下水道が使用できる区域になつてから3年以内に**指定工事店**

浄化槽から雨水貯留施設への 改造に補助金があります

下水道に接続することにより、不用品となった浄化槽を雨水貯留施設に改造する工事に補助金を交付します。

この施設は庭木の散水などに利用でき、資源の有効利用や水道料金・下水道使用料の節約になります。
補助額 工事費の3分の2（限度額7万5千円）

申込み 下水道が使用できる区域になつてから3年以内に**指定工事店**

下水道使用料について

下水道を使用すると、くみ取りや浄化槽点検・清掃の費用が不要になります。しかし、汚水処理や下水管の維持管理のため、下水道使用料を納めていただきます。

下水道使用料は、使用者が毎月排出した汚水の量によって決定します。水道水の使用量を汚水の量とし、家事用に井戸水を使用している場合は、使用状況により量を決定します。

使用料は、水道料金と一緒に納めていただきます。

問合せ 下水道課管理業務係